

～未来をつくる子どもたちの豊かな心をはぐくむために～

# 道德のとびら



学校だけではないよ！ **心** を育てるチャンスは…

私たちは、生活していると、心が温かくなったり、勇気をもらったり、時々悲しい気持ちや悔しい気持ちになったりすることが、たくさんあります。

そのようなことがあると、実は、私たちの心は大きく成長しているのです。「えっ、そんなことあったかな?」「どんな時なのかな?」と思いますよね。

振り返りの合い言葉は **つながり** です。

この「道德のとびら」を開いて、『心』を育てるチャンスを探してみましょう。

どんな人や出来事とつながっているかな? つながりを探してみよう!



## つながり探しすごろく

何回もチャレンジするのじゃ!!



どんなことをがんばっているのかな?



自然愛護



感謝



郷土を愛する態度

名前	ゲットしたポイント!!

もっとお話を聞きたいな

### 遊びかた

①ジャンケンしながら進む!!

- グーで勝ったら 3 マス進む
- チョキで勝ったら 2 マス進む
- パーで勝ったら 5 マス進む

②とまったマスに書かれていることはあったかな?

- あったよ… 1 ポイント
- くわしくお話できるよ… 2 ポイント (誰に? どんな? その時の気持ちなど)

ゴールまで何ポイントゲットできるかな? おうちの人やお友達とチャレンジしてみよう!

うれしい時もあれば、うまくいかなくて悲しくなる時もあるよね



先にゴールした人は最後の人がゴールするまでいっしょにジャンケンしよう!!

未来に向かって心育てる つながり探し **GO!**



ページをめくってみよう



# みんなにはあるかな？こんな「つながり」

学校の「道徳科の授業」で、お話の中に出てくる人の気持ちを、友達と一緒に考えると、いろいろな「心の中」が分かってきますね。

「自分と同じことを考えていたんだ」「自分とは違う気持ちもあるんだな」だったり、「自分もそんな気持ちになったことあるな」「こんな気持ちになることもあるんだな」だったり……。

## 自分の心とのつながりが見えてくると、心が大きく育つチャンスになります。

みなさんが生活している家庭や地域でも、そのようなつながりがきっとありますよ。

### 登場人物や話の内容とのつながり



「友情、信頼」について考える小学1年生の道徳科の授業では、役割演技に保護者も参加してもらいました。保護者と友達のやりとり（役割演技）を見ていた子どもの「二人は友達だから、一緒に食べるともっといい気持ちになるね」という発言を聞き、うんうんとうなづく子ども達。友達同士のつながりという新しい気付きが生まれ、友達のよさを感じる授業になりました。授業後、役割演技をした保護者の方は、「楽しかったです。私も勉強になりました」と話してくださいました。

### 友達とのつながり

吹奏楽部に入部した中学1年生のAさん。「楽譜がうまく読めない」「思うように音を出せない」といった悩みに寄り添ってくれたのが同じ部の先輩たちでした。「もう一度やってみよう」「そうそう、その調子」と温かい言葉をかけてくれる先輩のもとで、Aさんは少しずつ成長しています。「来年、同じような悩みをもった後輩がいたら、私が先輩にしてもらったように、私も後輩にアドバイスしてあげたい」とAさんは話します。先輩とのつながりが、後輩とのつながりへと広がっています。



### 家族とのつながり

いつの間にか今日使う道具や準備物が机の上に置かれていたり、友達とけんかをして泣いて帰ってきた自分の隣で寄り添ってくれたり……。おうちで、家族のさりげなさに助けられた経験はありませんか？ そのさりげない行動には、あなたへの思いが込められています。好き嫌いをして食べ物を残した時やゲームのしすぎで寝坊した時に、本気で叱ってくれることにも、家族からあなたへの思いが込められています。反発する気持ちで見えないこともあります。ぜひその思いを考えてみましょう。きっとあなたの心の支えとなります。



ボクのせいかつにも、たくさん「心をつながり」があったよ。ボクは、たくさんのひとのきもちがわかるおとなになりたいな。

## つながり

## 「つながり」が見えると、どんなよさがあるのかな？

道徳科の授業では、教材の登場人物と一緒に学ぶ友達の感じ方や考え方について、「自分にはあるのかな？」とつながりを考えながら、心について学んでいます。時には、自分にはない感じ方や考え方に出あうこともあり、その考えのよさを考えたり、改めて自分の心を深く見つめたりします。そして、自分の生き方に生かしていきます。

多様性や互いのよさを認め合う時に欠かせない「自分とのつながりを見いだす」ことは、「多様な他者と共に生きていく」将来に生かされていくことでしょう。

### 自分の夢や憧れへのつながり

「うちの子は、学校の学習発表会で合奏したり、ステージに立ったりしたことがとても楽しくて、その経験からアイドルを目指したんです。」この言葉は、アイドルになった女の子のご家族の言葉です。学校行事や部活動、毎日の学習や生活の中には、「自分の夢や憧れ」につながるヒントやきっかけがたくさんあふれています。その時は気付かなくても、一つ一つの出来事や経験、学びが、あなたの理想や未来に必ずつながっています。



### なりたい自分とのつながり



当番活動、係活動、委員会活動、家庭でのお手伝い、学校行事……。子どもたちは日々、様々な場面で誰かのために働いたり、活動したりしています。一生懸命になって活動に取り組む中で、達成感を感じたり、誰かから感謝の気持ちを伝えられたりすることで、人の役に立つことのうれしさや、働く人の思いを知ることができます。この経験からの学びは、「家族・学級・社会」などの中で、「なりたい自分」を考えることにつながります。

### 地域の人々とのつながり



地域での様々な活動で、学校の中だけでは学べない多くのことを学んでいます。光南高校では、地域で大切にされてきた公園をいつまでも残していこうと地域の方と一緒に清掃活動を行ったり、自分達が学ぶ専門的な内容を地域の中学生に体験してもらう活動に取り組んだりしています。これらの取組は「努力や強い意志」「郷土愛」といった心が育まれるきっかけとなり、活動に参加している大人にとっても「やりがい」につながっています。

### 私たちのふるさととのつながり

東日本大震災を経験した本県だからこそ、人との絆や思いやり、郷土への誇りを大切に、しなやかで前向きに生きてほしいという願いが込められた『ふくしま道徳教育資料集』があります。「困難を目前にした人々は、何を感じ考え、どのように乗り越えようとしたのか」「そこには、人としてのどのような生き方があるのか」「どんな福島県のよさを引き継いでいけばよいか」等を学ぶきっかけになります。また、県内の中高校生や社会人の方が、家族、友達、学校や地域の様々な人々とのふれあいを通して感じた「心温まる話」「体験したちよっという話」「今伝えたいメッセージ」等の作品集もあります。ぜひご家族でいっしょにお読みいただければと思います。

## 「つなげる」努力を惜しまない

### ～道徳教育推進教師の思い～

南相馬市立原町第一中学校では、これまで日常的に教師がお互いに授業を見合う取組を行ってきました。この取組を生かし、道徳科の授業では道徳教育推進教師が作成した「授業参観シート」を基にして授業を見合う取組をすることにしました。よりよい道徳科の授業につながる「多面的・多角的に考えていたか」「自分との関わりにおいて考えていたか」という視点が書かれており、参観する教師が授業をした教師に気付いたことをフィードバックできるようになっています。このシートは、授業づくりにも生かせるものであり、これにより原町第一中学校の道徳科の授業と教師集団としての学び合いがさらに充実したものとなっています。

このような熱意ある指導は、全ての教育活動でも見られています。これからも、道徳教育と要である道徳科の授業で、子ども一人一人の「心」を大切に、育てていきます。



モラル・エッセイを読んだら、私や息子と同じ年代の作品があったの。何気ない日常の中で感じたことや考えたことが書かれていたり、涙が出そうになる感動エピソードもあったりするわ。なんだか元気もらったわ。



『モラル・エッセイ』コンテスト優秀作品集『ふくしま道徳教育資料集』は、義務教育課ホームページから御覧いただけます。





# 心が動き体が動く! 生き方を見つめる道徳教育



## ～道徳教育推進校の取組から～



### 授業以外でも対話して、思考を深める機会をつくる

玉川村立須釜小学校

須釜小学校では、授業以外でも子どもたちが物事を多面的・多角的に考える機会になるように「いろいろみんなで考えよう」のコーナーを設置しています。例えばスマホの課金についての家族の意見が示されており、自分の考えに近い意見にシールを貼っていきます。もちろん多数決で正解を決めることが目的ではありません。コーナーの前では友達と対話したり、友達の意見を見ながら考えたりしてシールを貼る子どもたちの姿が見られます。様々な場面で子どもたちの思考を深め、学校全体で道徳性の育成に取り組んでいます。

## 教科「産業社会と人間」を要に道徳教育を推進

福島県立光南高等学校

光南高校は、魅力あふれる6つの系列をもつ総合学科の高校です。総合学科特有の教科として「産業社会と人間」があります。高校には道徳科がないため、本教科を道徳教育の推進の要の教科として、社会における人間としての在り方生き方について考える機会を多く取り入れています。具体的には、何を学び、どう生きるかを考える進路講演会、生きていくこと・働くことを体験によって学ぶ職場体験学習、情報モラルなどの社会問題について考える学習、ライフ・プランづくりなどです。これらの学習を通して、人間としての在り方生き方を積極的に考える生徒を育成しています。また、地域貢献活動等も積極的に行って、地域との関わりを深めています。



## 地域とつながり、「思いを言葉にのせて」 思いやりと絆を深め合う

南会津町立南会津中学校

南会津中学校では、地域と連携して様々な体験活動を行っています。「伊南川フィールドワーク」「高清水公園散策」では、豊かな自然を満喫しながら、何が環境に優しい取り組みか、身近にある豊かな自然をどうやって守っていくべきかなどを考え、学んでいます。さらに、地域の行事に全校あげて参加し、地域の一員であるという意識を高めています。

また、校内には、全校生が目にする掲示板「なんかいの木」があります。4月には新入生に向けて「ようこそ!」「不安があったら頼ってね」という2、3年生からのメッセージを掲示し、全校生が「なんかいの木」を前にコミュニケーションをとっていました。「みんなの思いを一つに」というコンセプトの下、「なんかいの木」が南会津中生の心と心をつなぎ、互いを思いやり、絆を深める学校づくりの一翼を担っています。

## 「モラル・エッセイコンテスト」の活用

南相馬市立原町第一中学校

原町第一中学校では、「思いやりの心をもって、主体的に生きようとする生徒の育成」という学校目標の具現に向けて、道徳教育の充実と改善を図っています。

3学年では、「モラル・エッセイコンテスト」の過去の中学生入賞作品を学年道徳の教材として扱いました。身近な題材に共感したり、葛藤したりする様子も見られ、今までの自分を客観的に捉えるよい機会となりました。また、昼の全校放送では、定期的に入賞作品を朗読し、道徳的価値について問いかけています。朗読後は、生徒同士が活発に語り合うなど、自ら感じ、考えを深めていく生徒の姿を見ることができました。



義務教育課  
道徳教育の  
ページ

〔編集・発行〕福島県教育委員会 令和5年12月

